

# 日本産婦人科学会 PGT-A 多施設共同臨床研究について


この度当院は、日本産科婦人科学会より、R1 年 12 月 26 日付けにて **PGT-A** 多施設共同臨床研究への参加が承認されました。

## 着床前診断とは

PGT-SR、PGT-M、PGT-A と分類されています。

その中で、今回実施される臨床研究は PGT-A（着床前染色体異数性診断）です。

着床前診断の種類	対象・目的
<b>PGT-A</b> (着床前染色体異数性診断)	受精卵の染色体の数の異常がないかをみる

採卵後胚盤胞培養し、 TE 生検	体外で受精させた胚の一部をとって検査  培養し始めてから 5 日目または 6 日目になると図のような胚盤胞と呼ばれる段階まで育ってきます。 この胚盤胞の外側の細胞の一部をとって検査します。
---------------------	---

## 適応基準

反復不成功	直近の胚移植で 2 回以上連続して臨床妊娠が成立していない
習慣流産（反復流産）	直近の妊娠で臨床的流産を 2 回以上反復し、流産時の臨床情報が得られている
染色体構造異常	夫婦いずれかが染色体構造異常を持つ

※適応基準の詳細・費用については説明が必要ですのでご来院ください

着床前診断をご希望の方はお問合せください。